

主な展示内容

Exhibition & Demonstration

主な商材	概 要	ベンダー
Microsoft365 Copilot	Microsoft 365 Copilotは各OfficeアプリにAIを組み込んだ業務を効率化するツールです。文書、プレゼンテーションの作成、編集や、メール、チャットの要約など、さまざまなシーンで役立つ機能が満載です。今回はMicrosoft365 Copilotの概要のご紹介とCopilotを利用するために必要な準備についてご説明します。	SB C&S株式会社
YOMEL	会議や打ち合わせの音声をAIが自動で文字起こし・要約する議事録作成ツールです。録音データをアップロードするだけで、発言者の識別や重要ポイントの抽出まで自動化。議事録作成にかかる時間を大幅に短縮し、記録精度と業務効率を同時に向上させます。チームの情報共有をスムーズにし、会議後の生産性を高めるサポートをします。	SB C&S株式会社
Buddycom	AIを活用した現場向けコミュニケーションプラットフォームです。スマホやタブレットでトランシーバーのようにグループ通話ができ、AIが音声を自動で文字起こし・翻訳。映像共有や位置情報連携も可能で、現場の連携をリアルタイムに可視化。AIによる情報共有の効率化で、安全性と生産性を大幅に向上させます。	株式会社サイエンスアーツ
freee会計 人事労務・勤怠管理	freeeはAIを活用して「日々の記帳や給与計算といったバックオフィス業務」を劇的に効率化します。「freee会計」は請求書から自動で仕訳を生成し、「freee人事労務・勤怠」は給与計算を自動化。業務時間を最大50%削減し、経営者様・従業員様の皆様の煩雑な作業から解放します。インボイス制度などにも自動対応。freeeのAIが貴社の生産性向上と事業成長を力強く支援します。本フェアで革新的な効率化のきっかけをつかんでください。	フリー株式会社
SKYSEA、SKYPCE	【SKYSEA】はサイバー攻撃や人的ミスからの情報漏洩対策、セキュリティ強化とIT資産の安全な運用管理を支援します。【SKYPCE】は業務で得た名刺を組織の情報資源として一元管理し共有することで、営業活動やマーケティング強化に繋げて頂けるサービスです。ブースでは実機を用いてのご説明も可能ですので、お気軽にお立ち寄りください。	Sky株式会社
kintone	ITの専門知識がなくても直感的に業務アプリを作成できるノーコードツールです。表計算より快適に、専門システムより柔軟に、スピーディーかつ低コストで、思いついた業務改善を「シュシュっと」実現できます。kintoneの導入をご検討中の方や他社の活用事例にご関心のある方は、ぜひ当ブースへお立ち寄りください。	サイボウズ株式会社
AI-OCRプラグイン for kintone	帳票レイアウトの事前設定が不要！ 次世代AI-OCRで簡単・リーズナブルに帳票の読み取りを自動化し、電子帳簿保存法対応から業務改善に繋がるドキュメント（帳票）のデジタル化が可能となります。本ブースでは「紙書類からの脱却！ KintoneのAI-OCRプラグインを活用した文書の電子化」についてご紹介します。	富士フイルムBIジャパン株式会社
Copilot+ PC	AI処理に特化した、NPU搭載の「Copilot+ PC」で、次世代の働き方をご提案します。非AIPCとCopilot+PCの違いや、AIPCだからできる機能など。例えば、WEB会議でのクリアな画像と音声、文字起こしで快適でスムーズなWEB会議が実現できます。AI処理で高速・低消費電力な最先端PCを、ハンズオンにてポイントをご紹介します	富士フイルムBIジャパン株式会社
Sentinel One オフィスあんしんセキュリティMA	日々寄せられる侵害報告と復旧のSOS！サイバー攻撃はますます巧妙かつ多様になり、多くのランサムウェアはアンチウイルスのパターンマッチング技術では検知や防御が困難です。これからは、侵入を検知し、被害を最小限に抑え、迅速な復旧を支援するEDRが必要です。アクトSOCチームが、グローバルトップクラスの検知・防御力を持ったEDR：SentinelOne のおまかせ運用をPC1台から実現します。	富士フイルムBIジャパン株式会社
beat	不正アクセス対策や情報漏えい対策など、強固なセキュリティ・ネットワーク環境の整備は企業に求められる大きな課題のひとつです。その環境の設計・構築、運用には多大な労力とコストがかかるため、大きな負担となってしまう場合が少なくありません。beat サービスは、安心・簡単・便利なネットワーク環境をワンストップかつ低コストで実現し、お客様がコア業務に集中できる環境をお届けします。	富士フイルムBIジャパン株式会社
DDHBOX	取引先に感染を拡大させない出口対策。サプライチェーン攻撃が増加している背景があり、来年度セキュリティ評価制度がはじまります。どれだけ情報を持っているかだけでなく、こういった取引先があるかということも狙われるポイントになります。取引先に感染を拡大させないため、加害者にならないための出口対策を紹介します。	デジタルデータソリューション株式会社